

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【68】

2. 日 時：令和4年1月26日 14時00分～15時30分

3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全規制調整官、忠内安全管理調査官、江崎企画調査官、植木主任  
安全審査官、千明主任安全審査官、服部主任安全審査官、三浦主任安全  
審査官、藤川安全審査官、谷口技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源建築） 他21名※

電源開発株式会社

原子力土木室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁のハツリです。
0:00:05	時間になりましたので、ただいまから島根 2 号機、設工認のヒアリングを開始いたします。
0:00:12	本日の議題は、
0:00:14	地盤の支持性能について、
0:00:16	ということで、主に地盤の解析用物性値関係。
0:00:21	このヒアリングになります。
0:00:24	よろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:29	はい、中国電力ヨシツグでございますよろしく願いいたします。
0:00:34	規制庁の服部です。
0:00:35	それでは資料の確認をお願いします。どうぞ。
0:00:44	中国電力の伊佐です。
0:00:46	それでは提出した資料を確認させていただきます。
0:00:50	資料番号NS他、033、講演記載適正化箇所。
0:00:57	資料ですが 1 月 21 日。
0:00:59	底部SⅡ、2001-03、地盤支持性能に係る基本方針が、その比較表括弧費。
0:01:07	こちらは両者 10 月 20 日提出となります。
0:01:11	そして、NS通を 02301 回 02、こちらの補足説明資料、1 月 21 日提出となります。軽量参照となります。
0:01:22	以上です。
0:01:25	規制庁の服部です。
0:01:26	はい。資料の確認ができましたので、それでは、説明の方を開始してください。どうぞ。
0:01:38	はい。中国電力の伊佐です。それでは説明させていただきます。
0:01:43	本日は資料番号NSを
0:01:46	02301 階 02 の補足説明資料を用いまして、江島の申請についてご説明をさせていただきます。
0:01:54	本資料につきましては、界 0 からの変更点を、演出他 033 の工認記載適正化箇所をまとめておりますが、
0:02:04	補足説明書で、黄色ハッチでお示しをしておりますので、補足説明資料でご説明をさせていただきます。
0:02:11	まずすいません。お詫びがございまして 5 人。
0:02:15	記載実績箇所につきまして、2 枚目になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:22	提出年月日が1月20、23日後、上へナンバー678円になっておりまして、これは誤りでございまして、すべて1月20日となります。申し訳ありませんでした。
0:02:37	それでは補足説明書のほうをご説明させていただきます。
0:02:41	まず通し番号2ページをお願いいたします。
0:02:46	今回の説明範囲といたしましては、赤枠で囲っている範囲、こちらを説明させていただきます。
0:02:52	前回のヒアリングでは3ポツ3の地下水に関してご説明をさせていただきました。
0:02:58	次回2月4日のヒアリングでは4ポツ2のうちの改良地盤、
0:03:04	に關しまして、また某交通にボポツ3-49算定式、6ポツの速度構造、こちらご説明いただきさせていただきます、一旦補足説明資料のご説明をさせていただくというふうに考えております。
0:03:18	また、本日説明させていただく参考書といたしましては、下に記載しております参考書11。
0:03:25	次のページ3ページをお願いします。
0:03:28	はい。こちらで赤箱っていう範囲をこちらご説明させていただく予定です。
0:03:34	では4ページお願いいたします。
0:03:38	1ポツ、概要につきましては基本方針と同じ内容になりますので、かつ、説明は割愛させていただきます。
0:03:46	5ページお願いいたします。
0:03:49	2ポツ、基本方針につきましても、同じ内容となりますので、説明は割愛させていただきます、
0:03:56	文書の中でですね、文献のところでちょっと少しわかりやすくなる改革をつけさせていただきます。でございます。
0:04:04	6ページお願いいたします。
0:04:08	3ポツ、対象施設周辺の地図等というところになります。
0:04:13	島根の敷地の教室をご説明させていただいております、第2パラグラフになります。
0:04:19	嶋明現職発電所敷地演出は、新第三期中新世の堆積岩から成る上層受槽及び関連盤類、
0:04:28	それらを扶桑として、見直しがございます。
0:04:31	10ページ、お願いいたします。
0:04:39	対象構造物を網羅するように敷地内の地質断面図を載せておりまして、高野21ページから19ページに記載をさせていただいております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:48	なお 15 ページをお願いいたします。
0:04:52	こちらPLの表示がちょっと他の図面と少しずれておりましたので、修正をさせていただきます。同じく 16 ページに同様でございます。
0:05:03	20 ページ、お願いいたします。
0:05:09	こちらの方では各構造物における、周辺に分布する地質を表でまとめております。
0:05:16	21 ページ、お願いいたします。
0:05:21	4 ポツ、地盤の解析用物性値となります。
0:05:25	22 ページから 28 ページにつきましては、設置変更許可申請書、全国に記載された物性値になりますので、詳細説明は割愛させていただきます、29 ページお願いいたします。
0:05:42	4 ポツに、設置変更許可申請書に記載された解析用物性値。
0:05:47	といたしまして、有効力解析に用いる耐久物性値、その他改良地盤等の物性値を、今回再使用いたしますのでその詳細についてご説明をさせていただきます。
0:05:59	30 ページ、お願いいたします。
0:06:06	有効解析に用いる解析用物性値のうち、液状化ダイソウソウ対象層としまして、埋め戻し同砂れき層を設定しております。
0:06:16	これは試験結果をもとに物性値を設定しております、また、設置許可でお示した液状化強度曲線となるように、基準液状化パラメータも設定をしております。
0:06:27	31 ページお願いいたします。
0:06:32	非液状化層といたしまして、上の指導括弧年制度と既卒停止及び副医師がでございます。
0:06:40	植松と藤につきましては
0:06:43	入行解析で設置する動的変形特性の妥当性を、後程参考資料 11 でご説明させていただきます。
0:06:51	また、粘性眼鏡共同特性につきましても参考資料 12、
0:06:56	木曾ステージ及び副医師につきましては文献かちょっと設定いたしますので、
0:07:01	サンゴ礁 13 でご説明をさせていただきます。
0:07:05	下に改良地盤の表がございます。
0:07:08	廃炉磁場のうち、
0:07:11	防波壁や口を先につきのつきましては、改良地盤の区分を、今、
0:07:18	中間を踏まえまして、3 層区分、見直そうと修正を考えております。
0:07:23	詳細につきましては次回ご説明をさせていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:27	32 ページお願いいたします。
0:07:32	こちらでは後廃却地擁壁及び防波壁難民監視重力擁壁に用いる岩盤、また 取水管周りの埋め戻しに用いる砕石について、
0:07:43	記載しております。
0:07:45	36 ページお願いいたします。
0:07:54	こちら章では有効解析に用いる解析用物性値のうち、液状化パラメータについ て記載をしております。
0:08:02	第 2 パラグラフになりますが、地盤の液状化強度特性は、敷地の元地盤にお ける代表性及び網羅性を踏まえた上で実施した液状化強度試験結果よりも、
0:08:13	保守的な会議設定方法により決定される液状化強度を用いて設定する。
0:08:17	といたしまして、設置許可より方針、また、適用状況特性に変更はございませ ん。
0:08:24	こちらにつきましては
0:08:26	要点のみご説明をさせていただきます。
0:08:29	37 ページお願いいたします。
0:08:33	こちらもちよつと文献等につきまして、改革の方は手つけております。また、同 郷詳細につきましては、5 耐震設計編という値が少し誤りがありましたので、修 正させていただきました。
0:08:47	52 ページお願いいたします。
0:08:55	図 4 ポツ 2-15 となります。
0:08:58	道路教習法サトウ港湾基準の液状化判定を行ったところ、砂れき層のみが机 上完成を行う必要がある予想と、いうふうになりますが、保守的にえさ礫層止 めろ自動液状化検討対象と対象相当いたしました。
0:09:13	54 ページ、お願いします。
0:09:18	液状化検討のため砂れき層と上松指導対象に液状化強度試験を実施いたし ました。
0:09:24	ロータリー式 3 種縦貫サンプラーに加えまして、液状化強度試験データ数を確 実にふやす観点から、
0:09:31	競争試料採取を用いて液状化強度試験、試料を採取いたしました。
0:09:37	机上Upper強度試験、
0:09:40	ヶ所のボーリング柱状図やコア写真につきましては参考資料 14 でお示しをし ております。
0:09:46	64 ページお願いいたします。
0:09:52	こちら 64 から 66 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:55	におきまして、敷地全体の埋戻し同とされる基礎のN値と採用議員いう最優分倍率をしようといまして、液状化強度試験使用の代表性を確認しております。
0:10:09	73 ページをお願いいたします。
0:10:15	液状化強度試験の詳細につきましては、こちらも参考資料 14 にお示しをいたしますが、結果としましては、
0:10:21	机上化を示す資料はなく、非液状化、もしくはひっくりかえしなんかサイクリックモビリティをと判断いたしました。
0:10:30	78 ページをお願いいたします。
0:10:36	液状化強度曲線につきましては、ロータリー式 30 管サンプリングにより採取した資料の液状化強度試験結果から設定される結果が、
0:10:45	青線、
0:10:46	競争資料、最初の液状化強度試験結果から設定される結果が緑線となりまして、
0:10:52	埋め戻しにつきましては、上の図の 4 で、表層試料採取からえられた曲線緑線の方が保守的な結果となりました。
0:11:01	また、砂礫につきましてはロータリー式 38 回の結果を示しております。
0:11:07	84 ページをお願いいたします。
0:11:14	FLIPにおける没水の設定方法の一つある簡易設計法で設定した液状化強度曲線。
0:11:20	こちらが下の図の赤線で示しております、試験近い浦邊佐伯様先ほど曲線の平均 $\sigma$ よりも、安全があることを確認し、こちらの赤線を用いて、有効力解析を実施いたします。
0:11:35	89 ページをお願いいたします。
0:11:40	まず解析を物理といたしましては、
0:11:44	今回、採石については参考資料 16。
0:11:47	地盤の物性のばらつきにつきましては参考書 17 でご説明をさせていただきます。
0:11:53	90 ページをお願いいたします。
0:11:58	個数極限支持力になります。岩盤のうちCH級、CM級に関しましては、前回資料では 11.7 ニュートンパスTアビル、
0:12:07	Aとしておりましたが、立川でご説明していた 9.83%関谷見直しをさせていただきます。
0:12:15	95 ページをお願いいたします。
0:12:21	僕から参考書のご説明となります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:25	まず参考書 11、動的変形特性の設定といたしましてになります。
0:12:30	FLIPではHDモデルで地盤の非線形特性が設定されます。
0:12:35	今回の埋め戻しどう、佐伯木曾へ戻しと括弧粘性度につきまして、動的 3 軸圧縮試験を行いまして、その結果が概ね整合することを確認いたしました。
0:12:47	96 ページお願いいたします。
0:12:52	参考資料 12、埋戻しの括弧面積の強度特性についてとなります。
0:12:58	こちらは、コンニューの申し送り時間外となっております、直の指導、学校粘性度の物性値を文献における、 $C=0$ 、最高 30 とする方針につきまして、
0:13:10	室内試験結果に基づいて検証することということにつきましての資料となります。
0:13:15	上本資料(2)制度につきましては、図に示します通り、施設護岸建設時に、止水性を確保するため、
0:13:23	護岸の背面に施工されたものとあります。
0:13:27	こちら郷排気多重交換式擁壁の解析モデルを設定する必要があることから、適切な解析及び数値を設定いたします。
0:13:35	97 ページお願いいたします。
0:13:41	こちら、むしろ括弧粘性に設定する解析用物性値になりまして、 $C=0$ 、 $=30$ を設定しております。
0:13:49	98 ページお願いいたします。
0:13:54	まず、文献調査といたしまして、
0:13:58	排水条件が異なる粘土の強度関係を真ん中の図にお示しをしております。
0:14:03	飽和した年度でいう試験を実施する場合、非排水条件のため、拘束圧の変動は間隙水圧の変化となります。
0:14:11	次のページ、99 ページにお示ししております図を見ていただきますと、どの高総括税、圧縮いたしても、ピーク強度は変わらないため、
0:14:21	せん断強度でメインは粘着のみで表現されてはいは 0 となります。
0:14:29	また、先ほどのページに戻りますが、
0:14:33	Cu 試験では圧密によって供試体の間引きが減少し、緻密化が進むことから、動粒子の組み合わせにより苗村深く $\phi$ が発生いたします。
0:14:45	99 ページをお願いいたします。
0:14:49	有効ある解析を実施する場合には、圧密排水試験 Cu バー試験により、融合に関するパラメータを取得いたします。
0:14:58	そのため
0:15:00	年数、年度につきましては 1000 粘着力しない無配が表現されます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:07	また、セイキ圧率等につきましては、一般的に粘着力 $c$ は0とされておりまして、有効解析における、18年度は、会田三戸があります。
0:15:19	109ページお願いいたします。
0:15:22	次に3軸試験による自然粘性度地盤の強度設定に関する研究という文献では、関空の三田地点における海底地盤の土質圧さを実施されています。
0:15:34	図の3-3、(1)から次のページの(4)に沖積粘土の結果を示しておりまして、 $c$ 考慮した場合 $\phi = 30$ 万結果替えられたと。
0:15:44	ということがあっております。
0:15:47	101ページであります、図の3-4で、年度の、
0:15:52	組成資材部発額に影響がないことも確認をされておりまして、
0:15:56	進行 $0\% = 30$ という値が使われております。
0:16:01	102ページお願いいたします。
0:16:05	倉林マネージャー、発電所における0指導括弧年生の室内試験結果となります。
0:16:12	上本氏の括弧粘性度は駅組成試験の結果年度に分類されます。
0:16:17	103ページをお願いいたします。
0:16:20	3軸圧縮試験結果を実施したところ、下の表に示します通り、 $C$ は0から58。
0:16:28	或いは30度となるということを確認いたしました。
0:16:31	で、104ページになりますが、
0:16:35	どうぞ、今日の試験結果を設定値を上回っておりまして、解析用物性値として、妥当と。
0:16:42	に判断をいたしました。
0:16:44	105ページお願いいたします。
0:16:50	3交渉13、木曾STACY及び福井氏の解析用物性値についてとなります。
0:16:57	施設護岸におきましては基礎ステージ及び福士を使用しており、これらは防波域の解析モードに設定するため、
0:17:07	制す必要があるため、港湾基準及び設計事例集に記載考案つき受信記載される、解析用物性値を設定することとしまして、その適用性をご説明いたします。
0:17:18	107ページお願いします。
0:17:21	107ページに
0:17:23	席順集に記載されている解析用物性値を記載しておりまして、
0:17:27	108ページになりますが、今回設定した解析用物性値を示しております。
0:17:35	109ページをお願いいたします。
0:17:39	文献調査を行っておりまして、まず、港湾基準の記載を抜粋しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:46	こちらでは動特性としてC=29トンパー平方メートル、高い三条について記載されています。
0:17:53	110 ページから同様に強度特性について記載された資料、また、113 ページから、設計事例集に記載された、解析用物性時等を用いた被災事例の再現解析。
0:18:06	が行われた資料載せておりました、
0:18:08	こちら精読表再現できたと、記載されていることから、
0:18:13	設計書を用いる、記載されている物性値は妥当と判断いたします。
0:18:18	120 ページ、お願いいたします。
0:18:23	島根業者 9 発電所への適用するおといたしまして、
0:18:27	島弓削社から提出をされている木曽ステージにつきましては、文献に用いられている緒元、
0:18:34	の元であることから、適用可能と判断いたしました。
0:18:38	また、祝詞の緒元としましてはちょっと文献よりも大きいんですが、本来、基礎指定します。
0:18:44	大きく緒元が大きいことから、基礎ステージよりも高い強毒性が想定されるため、
0:18:50	設計事例集の物性値の設定は安全が設定されることから、妥当と判断いたしました。
0:18:56	127 ページお願いいたします。
0:19:04	参考資料 14、液状化強度試験の詳細についてとなります。
0:19:10	これはロータリー式 30 管サンプラーで資料採取した、委員の 1 からの 8 点つきまして、N小さい留分含有率、粒径加セイキ曲線、ボーリング柱状図及びコア写真を記載しております。
0:19:23	ただ、市営飯野市飯野 2E の 6、2 の 7 地点につきましては、
0:19:29	ごく近傍の既往ボーリングの結果から、対象層判断して試料採取を行っているため、参考として既往ボーリングの結果を載せております。
0:19:39	た衛生管理地点につきましては、表層集採集による、再構成資料で、試験を実施していることから、154 ページ以降の試験結果のみを記載しております。
0:19:50	1 例として、
0:19:52	住本指導の資料 2-3 でご説明させていただきます。
0:19:56	136 ページお願いいたします。
0:20:02	こちらでは左の図で、試料の採取深度、
0:20:05	またN値細分化に実は記載しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:09	また粒度分布を右の図でお示しをしております、赤線で示した、千賀飯野さんとなります。
0:20:19	137 ページお願いいたします。
0:20:22	こちらに
0:20:24	飯野さんの柱状図が 138 ページにコア写真を載せております。
0:20:30	165 ページをお願いいたします。
0:20:37	添田飯野さん。
0:20:39	猪野さんでは三本の市場体を表した四つ用いて試験を実施しておりますその 1 結果一覧となります。
0:20:47	166 ページお願いいたします。
0:20:50	こちらでは、100、
0:20:52	藤岡試験の結果をお示しをしております、例えば右下のグラフを見ていただきますと、過剰間隙水圧比になりますが、
0:21:02	研究を超過する頭shall1 にはならない。
0:21:06	また、左の左の図を見ていただきますと、いう暴力がゼロになることはないことから、異常がないことはない、そういったコメントを記載しております。
0:21:15	同様のコメントを各州に記載しておりますが、割愛させていただきます。
0:21:20	ページが飛びますが 216 ページ、お願いいたします。
0:21:32	参考資料 16、碎石の解析用物性値についてとなります。
0:21:39	217 ページお願いいたします。
0:21:45	島根原子力発電所で使用している最盛期は、粒径 20 から 80 ミリ。
0:21:50	また、取水管の底部では後管理住民をつ使用しております。
0:21:55	このような在留系の材料試験は困難であるため、案件資料、こちらをもとに締め、
0:22:02	下の表に示す解析を物性値を設定いたしました。
0:22:05	218 ページお願いいたします。
0:22:11	33 ポツ、採石の進藤実験結果についてということでこちらにつきましては案件資料まとめた格好で記載をさせていただいております。
0:22:21	調査、割愛させていただきました要点だけご説明させていただきます。
0:22:26	まず、219 ページお願いいたします。
0:22:32	材料としては、下の表の通り 4 種類が選定されておまして、
0:22:36	221 ページ。
0:22:39	うん。なりますが、
0:22:41	S波速度事務職実験と強震実験ニシダ実験が行われました。
0:22:46	224 ページお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:51	この実験結果に基づきまして、各材料のせん断弾性係数のひずみ依存特性、また減衰定数のひずみ依存特性は、各々プロットされております。
0:23:02	なお、この図にある線につきましてはこれは他の文献の結果となっております。
0:23:07	225 ページをお願いいたします。
0:23:12	案件仕様では他の文献との結果と比較抜き妥当性確認されています。
0:23:19	図に赤線で、島野採石の粒径分布を示させていただきました。
0:23:24	持ち上げていただきますと、
0:23:27	島根の碎石は一応配席。
0:23:30	への誘導に告示してることから、1号碎石に着目をしてご説明をさせていただきます。
0:23:36	227 ページをお願いいたします。
0:23:41	こちら、他の文献の結果は、自動表にてまとめられております。
0:23:46	上の図を見ていただきますと、青線できた記載しております。田仲ほか、丸46。
0:23:53	と呼ばれる材料、こちらを境界といたしまして、
0:23:58	右側でスマホがせん断弾性係数が大きくなるというふうに記載されております。
0:24:03	具体的には、青線より、右側に 167 から 473 キロがフォースパー平方センチメートル。
0:24:13	青線は左側が 128 から 165。
0:24:16	となっております。
0:24:20	1号は月の 10 度は 20 から 100 ミリに対しまして、このタナカ他 40 度では 2 から 20 ミリとありまして、
0:24:28	1号堆積はAのせん断弾性係数をもう少し、大きな値になることが想定されますが、
0:24:33	高温に検証実施された実験では、緩く詰めた実験をされたというところで、結果としては 191。
0:24:41	表を下の表の、
0:24:44	本実験売り推定というところにありますけれども、そういった結果になっておりまして、他の部文献の比較して、保守的な値となっているということが、
0:24:54	判断できます。
0:24:55	228 ページお願いいたします。
0:24:59	次に、案件資料と他の文献におけるせん断弾性係数、減衰定数のひずみ依存特性を比較した結果となっております、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:08	1号砕石はバツでプロットされております。
0:25:12	上の図を見ていただきますと、10倍G0とひずみの関係となっております、保管材料や、文献私も、泉増加に伴う剛性低下が大きいということで判断できません。
0:25:25	また、減衰定数につきましては、一応砕石や他の材料分の比較して少し大きな値になっております。
0:25:32	その理由としては、拘束圧が低いということが推察をされております。
0:25:38	229ページをお願いいたします。
0:25:41	これらの結果より、1号再試験せん断弾性係数等は、他の全然比較しては
0:25:47	不適値となっていると判断いたしました。
0:25:50	230ページをお願いいたします。
0:25:54	以上を踏まえまして、島根現職発電所における採石は、案件資料の1号は井関の実験結果を用いて設定することとしました。
0:26:02	動的変形特性につきましてもこの実験結果から設定しております、減衰定数は、実験よりも大きくならないように設定をしております。
0:26:12	231ページ、お願いいたします。
0:26:18	参考資料17、地震応答解析にて考慮する地盤物性のばらつきとなります。
0:26:25	地震応答解析につきましては、岩盤、埋戻動及び旧表土に対しまして、動せん断弾性係数等のばらつきを考慮いたします。
0:26:35	まずCH、CM、CL級の岩盤のばらつきとなります。
0:26:40	ボーリンクを策定されたPS検層結果より、
0:26:43	232ページ、お願いします。
0:26:47	こちらの表の通りTは速度通り差速度の標準偏差、
0:26:51	及び変動係数を算定した結果を踏まえ、
0:26:54	民主党は20%、そういう10%のばらつきを考慮することといたしました。
0:27:00	ばらつきの算定結果はその次のページ、233ページ。
0:27:05	こちらの表の通りとなります。
0:27:09	234ページをお願いいたします。
0:27:13	こちら琉球岩盤濃度指導及び旧表土となります。
0:27:18	これにつきましては、動的3軸圧縮試験の結果に基づきまして、初期せん断弾性係数のばらつきを設定いたします。
0:27:26	235ページに追従岩盤236ページに、埋戻動、
0:27:32	237
0:27:33	ページに給与のばらつきかをお示しております。
0:27:38	238ページ、お願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:44	こちらではFLIPで用いる砂れき層及び三好加古稔制度の、なります。
0:27:50	こちら中ほどになりますが、
0:27:53	礫層及び東野(2)制度の旧殉職センター弾性係数は、S波速度に基づき算定することとします。
0:28:02	が
0:28:05	これはPS検査結果に基づくS波袋、平均値-one資本よりも安全側に設計。
0:28:12	S波速度を設定することで、ばらつきを考慮しない方針といたしました。
0:28:18	その結果を下の表にお示しをしておりますが、大変申し訳ありません。こちらちよっとデータに整理一部誤りがございました。
0:28:26	結論といたしましては、
0:28:29	と変わらず、設計時、
0:28:32	の方が平均-アラシバよりも安全側に設定しているというところは確認しておりますが、こちらちよっと次回ヒアリング以降で修正をさせていただきます。
0:28:40	大変申しわけあせでした。
0:28:43	239 ページお願いいたし
0:28:48	有効応力解析に用いる液状化強度特性のばらつきにつきましては、
0:28:53	先ほどご説明させていただきました通り、実験結果よりも十分、
0:28:57	保守的な監視設定哺乳。
0:28:59	範囲設定方法による利益状況チョコセイを設定することから、ばらつきを考慮しない方針といたします。
0:29:06	240 ページお願いいたします。
0:29:10	ばらつきを考慮した解析ケースの詳細につきましては、
0:29:13	それぞれの補足説明資料で詳細をご説明させていただきます。
0:29:18	説明は以上となります。
0:29:22	規制庁の服部です。
0:29:25	ご説明ありがとうございました。
0:29:27	本日の説明の中では、地盤改良の物性、地盤改良体の物性値については、次回以降ということで説明を受けましたけれども、
0:29:36	資料にあるということで、少し、
0:29:38	触れることがあるかもしれませんがその点についてはご了承いただきたいと思います。それではただいまの説明に対して確認する点があればお願いします。どうぞ、服部さんですけども、何かね。
0:29:51	服部さんの声だけ小さいんだけど。
0:29:54	鳥居さん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:56	ちょっと大きくしてみると、規制庁の服部です。少々ください。今、ちょっとでかくなりますが大きくなります。
0:30:04	聞こえますでしょうかどうぞ。
0:30:08	比較した、大きくなりましたかどうぞ。
0:30:11	電力さんの声は、割と明確なんだけど服部さんなんかは聞こえるけど鈴木とちょっと小さいかなというか決まっちゃうか。
0:30:22	そこがですね。
0:30:26	規制庁の服部です。少々お待ちください。今調整をします。少し一旦録音を停止いたします。
0:30:40	規制庁の服部です。説明どうもありがとうございました。本日の説明については地盤改良体の物性値については次回以降ということで説明がありましたけれども、
0:30:52	資料にあるということで若干増える可能性もありますので、その点についてはご了承いただきたいと思います。
0:31:01	よろしいでしょうか。どうぞ。
0:31:07	はい。中部営業部の磯です。了解いたしました。以上です。
0:31:11	規制庁の服部です。それではただいまの説明に対して確認する点がある方お願いします。どうぞ。
0:31:29	規制庁。
0:31:40	もう1回どうぞ。
0:31:43	規制庁のチギラです。
0:31:45	すいません
0:31:48	行って確認させてくださいと、資料で言いますと、
0:31:54	21 ページからですね設置許可。
0:31:59	設置変更許可申請書に記載された、解析用物性値ということで、この 21 ページから始まるんですけど、その中でちょっと聞きたかったのか、24 ページ。
0:32:10	保証。
0:32:12	4-1 款 4.1-3 のところですね。
0:32:17	軽量地盤に、約行き注入工法っていうところで、
0:32:23	ここについてなんですけど、ここのこれーこの、
0:32:30	フィール地盤に薬液薬液注入高校については、これは
0:32:36	去年のですね 10 月 27 日の
0:32:41	ヒアリングの際もですね基本設計方針の時にですね、似たようなこの香月物性値の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:49	許可時からのレジメ設定方針についてはその辺りを反映して記載してくださいというお話をさせてもらったんですけど、それにちょっと関連してですね。
0:33:00	この改良地盤のローマ数字の2っていうのは、これ、許可時のですね。6であつたりテンパ地にですね、設定個人。
0:33:12	記載しております、
0:33:17	電力殿達の内容を受けてですね、こういう設定するんですよっていうのがですねちょっと今の、
0:33:26	資料からはですねちょっと読み取れなくて、その辺りがですねちょっとわかるような形で、ちょっと記載の方ですね検討していただきたいんですけど。
0:33:35	いかがでしょうか。
0:33:41	はい。中国電力の伊佐です。はい。ご指摘ありがとうございます。こちらにつきましては
0:33:47	志賀さんはおっしゃった通り、10月20日に、
0:33:50	いただいたコメントでございまして、
0:33:53	まずスタートしましてまず1回ご説明させていただきたいと思っております、こちら次、
0:33:59	フックを含めて第3回に分けてご説明させていただこうと思っております。
0:34:04	それ以降からコメント回答させていただきますのでその際に
0:34:09	今のコメントを踏まえた基本設計のところ、方針に記載する等の反映をしていきたいと思っております。
0:34:15	以上です。
0:34:17	はい、規制庁チギリず、わかりました。基本設計5人であつたり添付に書く内容とですね、ここの補足でですね書く内容というのは異なってくるかなと思しますので、
0:34:27	ちょっとですね経緯というかですね後、
0:34:31	というかですねその辺りがですねわかるような形で、
0:34:37	改良地盤についてのですね設定するし、設定する法人を受けてですねこういう確認をしておりますというのがですね、わかるような形で、
0:34:48	こちらの方ですね検討していただければというふうに思いますので、よろしくお願ひします。
0:34:56	はい。中央ウェブサービスはい、わかりました。
0:34:59	以上です。
0:35:06	規制庁の三浦です。少し私の方から何点か確認をさせていただきます。
0:35:13	今までうち打ち合わせ出でなかったのてちょっと
0:35:18	あまりわかってない部分もあるんですが、先ほどの説明で52ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:25	日程見ますと、
0:35:28	液状化判定を行うのに必要ある塗装がえされそうで、
0:35:34	液状化判定の対象外の度層が埋戻し炉ですよね。で、
0:35:40	それ、そうなんだけども保守的に見て液状化判定対象外の梅津層も液状化検討対象層に加えましたと。
0:35:51	いうご説明だったもんだと思うんですが、その認識は正しいでしょうか。
0:35:57	はい。中国電力の伊佐です。ご認識間違っておりません。以上です。はい。それで 39 ページにその説明が入ってると思うんですが。
0:36:08	ちょっとこの部分の文章と先ほどの 52 ページの表が少しわかりにくいんですが、
0:36:16	基本的に道路きょう仕様書に基づいて判定をすると。
0:36:21	埋戻し動は液状化、判定の対象外になりますと。ただし、
0:36:27	この 39 ページの下の方に書いてあるように、粒径の話で、
0:36:32	10 ミリ以下であっても 10%粒径が 1 ミリを超過する銅像については抽出対処すると、埋戻し動がこれに当たるという理解でよろしいですか。
0:36:46	はい。その理解で結構です。
0:36:48	わかりました。これ最後の方の異常により、
0:36:52	39 ページですね以上によりという言葉があるんですが、粒径が小梅本指導については、対象外ではあるけれども、粒径を、のを、
0:37:04	考慮から保守的に埋め戻しどうも、液状化対象層に加えましたというような、ちょっと説明を追記してください。
0:37:13	それとあと 52 ページの、先ほどの表についてもですね、この表だけ見てるちょっとキーな感じがするので、
0:37:21	なぜ、一番下の結論なってるかということについても、注記を加えるとして、この表を完成させて欲しいんですがいかがでしょうか。
0:37:33	はい。中部です。もし理解いたしました。もう少し
0:37:39	内容がわかりやすくなるように記載を修正いたしませさせていただきます。以上です。
0:37:52	規制庁のハツリです。
0:37:53	今のミウラの確認委員の 39 ページなんですけれども。
0:38:03	39 ページの中ほどにあるように、
0:38:06	図 4 ポツ 2ーバー 55 に示す。
0:38:12	とあって、机上から判定を行う必要が度層は砂れき層のみである。
0:38:19	と書いてあるんですよね。一番最後には、保守的に上本シート及び砂礫層を抽出した。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:38:26	とあって、
0:38:27	これ許可から、
0:38:30	話を聞いている人は、
0:38:33	この文章は何となく理解ができる。
0:38:36	というか私の理解は、
0:38:44	当 38 ページの下から 12375 砂礫ソファから始まった中の砂れき層、
0:38:54	とか購入、
0:38:58	木曾碎石とか、埋戻し炉年制度。
0:39:02	これらに対して、
0:39:05	の中では砂れき層のみであると。
0:39:09	その 38 ページの
0:39:11	下から 5 行目以前の梅野元指導に対しても含め全体を含めると、最後には梅本石堂土佐礫層を抽出した。
0:39:19	というふうに読めるんですけども。
0:39:22	そういう理解で読んでい。
0:39:27	あと、そういう理解でよろしいでしょうかどうぞ。
0:39:39	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:39:43	はい。衛藤 38 ページの、
0:39:46	下から 3 行目。
0:39:48	インター、失礼いたしました。5 行目の齋木層というところで局所的に分布します。それよりも上のところにもいろんな、
0:39:56	分布してるところを書いておまして、
0:40:01	39 ページの 2 行目。
0:40:04	から、
0:40:04	地盤材料を抽出しまして、38 ページでも述べている各、
0:40:10	材料に対して、どういう状況なのか、液状化するものがあるのかないのか。
0:40:16	透水性力が大きいとか環境、そういったものを整理しております。で、最終的なまとめの位置付けとしては、以上によりということなんですけれども。
0:40:28	おっしゃられる通り、
0:40:31	SARRY 層とか、
0:40:34	埋め戻し度というところがはっきり明確に書いてあるところが、その途中段階でわかりにくくなっている文章になっておりますので、
0:40:41	ご理解の通りなんですけれども少し、もう少しわかりやすく、修正させていただきたいと思います。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:49	はい。規制庁の服部です。そうですね。どのグループの中砂れき層のみと云ってるのか。
0:40:57	どのグループの中で、砂れき層と埋戻しを抽出したのかっていうのがですね、結構段落が分かれてるので、どこまで
0:41:07	およんでどこまでに繋がってくるのかっていうのが少しわかりにくいと思いましたので、多分ミウラの確認と同じと思いますけれども。
0:41:16	もしそこら辺がより明確になるような修文ができるのであれば、していただきたいと考えていますが、よろしいでしょうかどうぞ。
0:41:26	はい。中国電力のヨシツグです。
0:41:28	まず、各材料についての分布状況をあの日、
0:41:34	ひとかたまりでご説明させていただきまして、
0:41:38	米とそれらのものから、どういうふうな液状化の対象になるものがあるのかというのを、まず区分させていただいていうのをまた次の、
0:41:47	分布に一つの段落にさせていただきまして最後に、
0:41:51	江藤宗はいいながらどういうふうと考えて液状化対象層として選んだのかといったところがわかるようなものにして、結論書くということで少し
0:42:01	フック状況とか性状というのを、
0:42:04	記載は、分けて下書いて、区別ができるような、ちょっと書き方を検討したいと思います。以上です。
0:42:12	はい。規制庁の服部です。はい。私がぱっと思ったのはさ礫層のみであるって書いてある文章等を埋め戻し及び砂礫層を抽出したっていう文章があって、
0:42:23	どっちなんだこれはというような読み方をする人もいるかなということで、もう少し明確にさせていただきたいという趣旨だったんですが、
0:42:32	それでよろしいでしょうかどうぞ。
0:42:36	はい。中国電力のヨシツグでございます。了解いたしました。
0:42:41	規制庁の服部です。それでは他に確認する点がある方お願いします。どうぞ。
0:42:48	規制庁ですけどもわかりました。エザキササキください。
0:42:53	31 ページ。
0:42:55	これ、お気づきの点がたくさんあるもあるからそれ言いますが、31 ページに庄野新野さんの。
0:43:03	開放時間その改良地盤の①とか②とか、全部あるんですけど。
0:43:08	この位置がわかるような図面をつけていただけれますか。全部載せなくていいんですけど、どの位置かっての前の方の図面で。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:16	例えば、多重交換式の断面図とありますけど、そ、その中に金丸市丸に関するとかですね、あと逆止領域の人員があるかないかは別としてこの辺の説明は、ちょっと、
0:43:29	説明していただくと、親切だと思うんですがいかがですか。
0:43:35	はい。中国の文書です。承知いたしました。改良地盤の維持がわかる図をつけさせていただいてます。
0:43:44	以上です。
0:43:45	続いてですね、32 ページでこれちょっと説明を求めたいんですけど。
0:43:51	表の 4-2-4 で例えば岩盤、
0:43:54	ってあるじゃないですか、この速度層がこういう抗力解析を書いているんですけど。
0:44:00	逆に言うと全応力解析の移動は、設置許可で決めた数字と何が違うのか。
0:44:05	ということと、もし変わるのであれば、なぜ 2 課変えなきゃいけないのかつてのを教えていただけますでしょうか。
0:44:17	はい。一応 6 年度でそうです。すみません。こちらちょっと有効力解析と架空のが正しいのかとあるんですけども、こちらにつきましては、防波壁アクティブ擁壁。
0:44:28	天田公園なんか位置付け金使う岩盤。
0:44:32	そうか申し上げますと 3 号機エリア。
0:44:36	の設置されている構造線とか岩盤をお示しております。
0:44:41	ですので、
0:44:46	大分、
0:44:48	仏説と何が違うかっていう話で、でございます。
0:44:54	はい。押田さん。ものとしては違う。すみません。すみません。中国電力のヨシツグでございます。
0:45:03	設置業界でご説明している数値と変わっているものではないんですけども。
0:45:08	今日ですね。はい、わかりませんが。
0:45:13	だけど、区分であると。
0:45:16	使いやすいように数字をお明らかにしてるってことなのかなその辺、
0:45:21	もし実際どうこうを設定したのかつていうのは、その設定経緯がわかるようにしてもらえませんか。
0:45:28	うん。
0:45:29	礎石とかから出て来ると。
0:45:32	例えば VS とか基本的に言うと、全く数字というかあれですか。うん。
0:45:38	一緒なんです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:41	中国電力のヨシツグでございます。
0:45:44	来週、脱出いたしました次回、詳しくご説明させていただきますけれども、ここは2号エリアでPS検層をやった結果等、あと、逆に擁壁等にある三方エリアであったPS検層の結果が、
0:46:00	概ね一緒なんですけれどもより詳細に3号及び設置許可で使っていたもののPS検層の値を記載をさせていただいているということで、設置許可の中身から変わっているというものではございません。
0:46:14	5000 設置許可カーの電力の示してる数字ではなくて、これは公認用物性値として、新たに示されてるという認識でいい。
0:46:23	それは、PS検層とかやったら間違いはないんだけど、であれば小PS検層が正しいとかそういうのを確認してかなきゃいけないんだけど、その位置付けをちょっと教えて欲しいんだけど。うん。
0:46:36	はい。
0:46:37	また今度ご説明させていただきますけれども位置図とかですね、は、PS検層の結果というのをういておまして3号の炉心の医者の検層結果を使っております。はい。
0:46:51	だから、それって、戦力には載ってない話ですよ。
0:46:55	やっぱり、テンロクには載っておる訳が載っておりませんで、まとめ資料等には載ってるんですけれどもはい。なのでこの工認の中でご説明させていただく物性値だと考えております。わかりましたじゃその辺ですね。
0:47:09	審査漏れがないようにですね、ある程度ちゃんと説明をする資料を提示していただければと思います。別にそういうふうに、
0:47:18	疑問を持つてるわけじゃないんだけど。うん。
0:47:21	それはよろしく願いますということで、
0:47:24	続いて、
0:47:27	48 ページ。
0:47:28	んなんですけど。
0:47:30	48 ページ。
0:47:32	これ図なんだけど。この後の後段にもなっていくんですけれども。
0:47:37	基本的に言うと、
0:47:40	この図の4-9の方、
0:47:43	AとかBとか、特にBかCですね。
0:47:47	括弧Bとカッコ視野ってか、特に括弧Bに関してはステージ、
0:47:51	木曽ステージ、福井市、消波ブロックいろいろとあるんですけど。
0:47:56	実際設置許可で、方針とか、または等、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:02	構造成立性を確認していった段階では、基本的に私の、
0:48:07	理解、
0:48:08	ではですね。
0:48:09	基本的には、これらの既設5案というのは期待しないということだったように、記憶してるんですが、それで間違いないですか。
0:48:19	加古。
0:48:20	これに関しては、いわゆる何らかしかなそういう役割とかそういうものを期待してるものではない。
0:48:28	はい。中国電力のヨシツグでございます。ご認識の通りでございます。
0:48:33	それで、モデル化としては戻るかしなくても、改良したのですね、この国のですね。
0:48:39	改良地盤とかさ、砂礫層、岩盤によって抑え込まれて、一応ここに関しては、防波壁は検討しなければ、
0:48:48	機能維持保持できるという結果までこいつ等成立性で確認させていただいたというふうに認識です。
0:48:55	よろしいですよ。
0:48:57	はい。ご認識の通りでございます。中国電力のヨシツグでございます。ちょっと丸井グループとしてるって言うけども今設置許可の段階で話をされていて、今後ね、この物性値の扱い方って、
0:49:11	今日、
0:49:12	的に、設計のコンセプトとしてどういう扱い方っちゃうかで、STACYや基礎ステージをどこまで確認するのか、評価でも確認はしたんですがそれは見通しだけの話なんで、工認でまた今、
0:49:25	尾島行くとですねもう一度確認しなきゃいけないんですけど。
0:49:28	法学部をサポート的にもですね。で、そうした時に、ぎりぎりやるのか、ある程度こう、
0:49:35	そこまで考えないでやるのかっていう。
0:49:37	一つの仕分けをしなきゃいけないです。私たち審査官としては、
0:49:43	相当そういう考え方に基づいた時にですね、期待しないということであれば、基本的には例えば、
0:49:51	そこでやっていたように、これらの既設護岸等に、まずあるものはモデル化しないものを、を基本として考えている設計になっているとそういう基本計画。
0:50:02	という形にしていくのであれば、
0:50:05	悪政で例えば、これらを寄付禁止とか、指定し、
0:50:10	地区ステージ、施設護岸等をモデル化した。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:14	ケースをやったとしてもそれは、基本的には波及影響的な考えに基づいて影響評価するものだという、
0:50:22	ことであれば、それほど抜本的にですね
0:50:26	これは物性値を切り、
0:50:29	詰め直すっていうことを考えないんですけど、我々の審査としてはですね。
0:50:34	基本的にどういう、小、
0:50:37	基本的な考え方に続いているのってのは、今後の説明になってくるんですけど、この辺がちよっとはっきり言い、決めていただいておかないと。
0:50:48	今後ですね、この審査をどこまでやるのっていうことに関係してくるんで、この際こちらのもう設計の基本方針は決まってるんでしょうかその考え方をちよっと説明していただけますか今。
0:51:02	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:51:06	今の考え方ということで、基本はここに既設の護岸があるということでございますので、これをモデル化したもので、評価をしたいと思っております。
0:51:17	これには期待していないというものでございますので、設置許可でも、構造成立性で一部ご説明いたしました、既設護岸がないものとしてやったもの場合でも、この
0:51:30	多重交換部位そのものが、の構造成立性等をご説明するということを今考えております。以上でございます。
0:51:36	今のお話を聞いてちよっと私の中では倒す今話を整理させていただくと、
0:51:43	基本的にはas-is状態で、基本ケースとして、
0:51:47	これが近いできない状態。
0:51:50	つまり全くないものの状態。
0:51:53	等不確かケースとして、設計として影響評価も含めた設計を行っていくというような流れになるっていうことに聞こえたんですがそういう理解でよろしいですか。
0:52:04	はい。中国電力のヨシツグでございます。今江崎さんがおっしゃられた通りas-isの状態、まず設計をいたしましてその中で、既設の護岸が多重鋼管杭に悪影響があるかどうかというのも確認はしていきたいと思っております。
0:52:20	それを踏まえまして、逆に今度は影響がないものという観点で、これがないものというのを、影響検討ということで今ご認識の通りで評価をしていきたいと考えております。
0:52:31	以上です。わかりました。
0:52:34	続いてですね、今の考え方はわかりません。わかりましたので、97 ページは 99 ページですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:42	95 ページの参考資料 11 ということで、
0:52:45	この資料をいわゆるサビ基礎と、浦島は制度って、高ひずみででき上がっていない んですよね。一方で上の方は比較的ピッチング程度がいい。
0:52:55	どっちの方行ってるかっていうと、せん断弾性係数野地%地蔵ガンマの話です ね。
0:53:01	ただ、一方で、減衰のは合わないのが 18 条に合わせたら、
0:53:05	派遣という道は、片方にしか合わないですから、
0:53:09	それは了解していますけど、今、
0:53:14	当期協の実績でも、また
0:53:18	土木学会の操作マニュアルでも、一本で合わせるとしたならばこっちの磁場事 業の方に合わせてきたという。
0:53:24	を書かれていますので、または一般地盤工学会の要領がですね、解析書等に もそういうのが書いてありますのでそれは理解した上でお話しさせていただきます。
0:53:36	そうした時にですね、図の市野委員と佐伯層と、制度っていうのは、
0:53:41	多分これだけのSsを、の地震動であればかなり、
0:53:45	1%近い。
0:53:47	ところですか。
0:53:48	のひずみはもう出てるんだと思うんですがこの部分が非常に合ってきていな いというのが一つ。これで見え見えます。乖離があるということで、
0:53:59	それですね、コメントとしてはですねg張り0 関係において、
0:54:05	建築部。
0:54:07	かなりですね乖離が。
0:54:09	施設影響を、対象施設への影響を、
0:54:14	どの程度あるのか、定量的にね説明していただきたいと、いうことをコメントし たいんですが、いかがですか。
0:54:23	もう少し言わしていただきましょうか基本的に言うと、多分ですね、シミズにこ の辺を大きくしているの、
0:54:30	多分砂れき層とか、宮下想定、
0:54:34	車中鋼管式とかあの辺の、に分布してるものなんだと理解してますので、そう すると、やっぱり藤矢上に評価することによって、
0:54:46	防災合理的な方法を、あれですね、鋳鋼乾式
0:54:53	防潮系ですね、うん。
0:54:55	海側に地震時に、生活ような動きを、役割等、抑制しない方法を安全側に抑制 しない方向に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:05	働くんだらうとは思いますが、それは論より証拠で
0:55:10	確認すべきだらうと思っています。
0:55:13	まずですね。
0:55:15	教えていただきたいのは、退席入り、失礼しました。社歴相当の1年制度、さ
	っきの言葉、文章では書いてあるんですが、実際に、
0:55:26	堆積範囲分布図ですね、テーマを示していただいて、
0:55:31	それとその対象施設との位置関係のある程度、次に、
0:55:37	二つ目として明確にしていきたいと思ってます。我々としては、それをもっ
	てですね、一層、
0:55:43	解析範囲等を
0:55:46	体積がございます。
0:55:48	施設顧問。
0:55:49	医師関係の関係から、影響ある。
0:55:55	土質なのかどうかという判断が、したいと思っていて、
0:56:00	もしそちらの方としては説明としてはですね影響ある施設。
0:56:05	をですね、まず我々に説明し、抽出して説明いただきたいと思うんですが、そ
	の堆積範囲とその位置関係。
0:56:12	を明確にした上でですね。
0:56:14	場合によっては、
0:56:16	構造物から、
0:56:17	かなり離れていれば、
0:56:19	先ほど1回、
0:56:21	影響検討というよりは、明らかに影響がないねというようなカトウ離れがあるん
	であればそれはもう除外できる、除外できるんだらうと、私たちも思ってますそ
	れは、
0:56:32	柏崎から、また同じ話でね、やった工事です。審査工事ですんで、
0:56:38	四番目として、
0:56:40	そうするならば、須藤施設影響のある施設がもし見つかったならばですねそう
	すると、
0:56:47	後にですね、試験値フィックさして欲しいんですね、あの時バージョンゼロ。
0:56:54	これ女川の事例をでは、または、
0:56:58	操作マニュアルなんかでも朝会されていたり、既往の文献だけでもいろいろ
	と、
0:57:03	紹介されてる方法としては、その最大応答ひずみとか、いわゆる、
0:57:08	施設A県大きいような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:57:11	ひずみが生じている最大ひずみの領域で、その範囲でヒットさせると。
0:57:18	割と、
0:57:19	微小浸透後、センター事務領域はあまり問題はならないと思いますんで、
0:57:25	一番、うん。
0:57:28	施設の能力です。生協というところに影響あり得る。
0:57:33	範囲でですね、決定をして、
0:57:36	限定してピッチングしていただいて、
0:57:38	そう。
0:57:40	から見てですね、今、計算されてるものが、
0:57:44	施設影響としてどうなのか、どういう関係にあるのか、安全なのか。
0:57:50	逆に言うと感度がないよっていう話なのか、そういったことも含めてですね、
0:57:56	こういうふうにしていただきたいと思ひまして、説明いただきたいと思ひてますが、いかがでしょうか。
0:58:03	はい。中国電力清水です。はい。ご指摘コメントいただきありがとうございます。
0:58:08	まずですね合成のこのフィッティングの方でございますけれども、通しで 95 ページの方ですね。こちらの特に砂れき層の方が、
0:58:20	おっしゃられる通り、1%あたりで、少し構成を低めになるようには設定しているんですがただ離れていると。
0:58:30	いうことはありますので、このあたり、影響の方は、検討するようにしたいと考えます。また分布についてですけれども、
0:58:40	よろしくお願ひします。下水道もお願ひしたいんですよ。
0:58:44	はいよろしいですか。どうぞ。
0:58:47	多分佐口層でちょっと話を持って申し訳ないんだけど、僕の経験では砂れき層で、いわゆる液状化対象層の上、下にあるんですよ適格の部分の。
0:58:59	層が割とやらなかったり方々にその微妙な立ちでき超過するとかしないとか、出てくることもあったりするんで、
0:59:06	そういうこともですねちょっと細かく分析していただきたいんですよ。
0:59:12	中国電力清水です。はい。おっしゃるようにならぬ影響を慎重に見ないといけなないと思ひますので、やっぱり検討して参りたいと思ひます。
0:59:22	御社がやられてるものが、これで安全側の設定だよっていうことを、どのくらい説明いただければ結構ですので、ちょっと
0:59:29	ただし、代表性をもってですね説明いただければいいと思ひんで先ほど言った堆積盆とかですね、施設、
0:59:36	対象施設の位置関係とか今お話しさせていただきましたそれは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:42	場所だけでも似たような、別、話はありましたんで、そういった検討してますんで、そういうのも参考にさせていただいてですね、どういった、
0:59:51	説明であれば、基本的にはそれが設計的に安全側と
0:59:56	やるという、
0:59:57	理論武装で、
0:59:59	いるかということもちゃんと考えて、整備していただければと思います。
1:00:05	ちょっと長くて申し訳ないんですけど。それとですね。うん。
1:00:12	96 ページ以降、この上相談制度とか、周辺があるんですけど。
1:00:18	これら一で、
1:00:20	結局、
1:00:22	030° っていうことで整理していったら最後 039 度になって、そ、それはそれなりに行くかな、ちょっと話があったのは記憶しているんですが。
1:00:31	こうした。
1:00:34	検討したときに、103 ページですか、103 ページで、基本的には、
1:00:42	物からすると 58 度からですね 0 という粘着力はばらついてるんですよ。
1:00:48	で、
1:00:50	まず、
1:00:51	説明いただきたいのは、この
1:00:54	例えば 58. 35 とか、そういう組み合わせにしたときに、
1:00:58	どのような影響が出てくるのかってちょっと説明できますか。
1:01:03	なんで。
1:01:04	多分 0 と、30 度の組み合わせにしたっていうのは、もう、
1:01:10	もともとフィリピン研究会でそういうのを推奨していて、そうした方が、基本的には、
1:01:16	実際の被災、実際例とかいったものは安いということもあって、推奨値を使いたいというのが、理解してるつもりですので、そうしたときに、これらを、例えば、
1:01:29	仮に粘着力をプランパラメトリックに変えたときに、何が起きるのかっていうのをちょっと教えていただきたいんですけど。
1:01:37	中国電力清水です。はい。おっしゃられるところですけども、粘着力の方ですけども、当然
1:01:47	せん断強度ですね。
1:01:50	向こうに反映されるもので基本的に、C+CIGMA端然とφというところの関係で、強度の方に効いてくるものでございまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:00	いわゆる初期の共同みたいところで、せん断強度に効いてくると考えております。そうしたところが解析上おそらく剛性のあたりに効いてくるのかなと思うのですがちょっと検討してですね、
1:02:15	もうちょっと説明いただきたいと思います。先生影響として、
1:02:21	なんて言うんだらう。
1:02:22	大串し得るような本感な数字なのか。
1:02:25	そそうではなくあると、仮に反応するかもしれないけど、お尋ねに。
1:02:30	こうすべきなのかっていうのが大体今説明はあるんですけども、実際に数字は現地で獲られているんだけど、
1:02:38	こうした方がメリットがあるといったことを、
1:02:43	ある程度、もう少しですね、説明性を、
1:02:47	を、
1:02:47	定めていただいた方が我々もそう理解しやすいのかなと。
1:02:52	それまで決めていく経緯、プロセスはわか分かるんですが、最終的になぜそこまでしなきゃいけないのかっていう観点からしたときに、ちょっと今ところまだ、
1:03:02	我々まだ十分理解できてないなと思いますので、こうですねちょっと点の説明をいただきたいと。
1:03:08	できたら通りそこである程度、定量的なもので見ていただくと我々はちょっとすごく理解しやすいと思いますので、ちょっとお手数かけますがよろしく願います。
1:03:22	中国電力清水です。はい。先ほどのフィッティングの件もございますので、あわせて影響検討の方、させていただきたいと思います。
1:03:31	以上です。
1:03:32	はい。続いて 127 ページの参考資料 14 ということなんですが、
1:03:38	ここですね、私もよく、今日からやっていますがよくわかっている、最終的には設計値っていうのは、後から求めた寛解な方法で、
1:03:48	木津岡共同液状化強度特性を決めていると。それは基本的には本部の方に向いているように、基本的には非常に下限値。
1:03:59	我々としては従来から比較すると、
1:04:04	先行サイトの有無、
1:04:06	使っていた、それぞれ標準 3、
1:04:09	ナビにかなり液状化しやすい物性値を使っていると。それはか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:16	安全側というご指摘だということで、選んでるというのを理解しています。その上でですね、今回この参考資料 14 のせっかくこう整理し、試験結果として整理いただいているというの理解しております。実際にそれよりも、
1:04:29	かなり保守的な数字で、
1:04:33	液状化は、評価をするのもわかっていますが、それでですね
1:04:38	実際に設計値と、これらの試験値の対比を、
1:04:43	していただきたいといういわゆる、うん。
1:04:45	柏先生もちょっとお願いしたんですが、どういう位置関係にあるかっていうのは、
1:04:51	概略ですね、
1:04:53	液状化強度特性の比較でわかってはいるんですけども。
1:04:57	いわゆる 156 ページとかありますよね。そうした要はオールパスとかですね、
1:05:03	いわゆる
1:05:05	過剰間隙水圧品の方、
1:05:08	時系列、こういったものですね、実際は、今の試験結果 50 を決めてみると、割と、
1:05:16	繰り返し軟化とか、サイトウフジキ的な傾向が現れていて、
1:05:21	実際にうちは設計値はどういう状況になってるかっていうのをご説明いただきたいなと思って。ただ、かなり件数が多いので、
1:05:28	全部やる必要があると思いますので、柏崎にも求めたのはまあ、
1:05:33	その中で一つ代表的な試験結果をもって、フィックの高機能を使うとこの辺は、
1:05:40	書けると思いますので実際そのFLIPで、それをある程度シュミレート。
1:05:46	氏名とじゃないですね。ごめんなさい。
1:05:48	設計値を使った時にどのような性状になっているかっていうことをちょっと示していただいて、最終的なまとめとして、試験値と試験はしてきたんだけど、設計値としてはこうなっていて、
1:06:00	そういう話と、ちょっと考察を、その考え方をして、試験、
1:06:05	ベーターとか試験条件の大江のですね、を含めた整理をちょっとしていただけないかなと思うんですがいかがでしょうか。
1:06:17	中国電力清水です。はい。ちょっと先行のものを確認させていただきますが設計値とおっしゃられてるのはおそらく赤い線で設定している液状化共同。
1:06:28	そういうことだと思いますので、はい。それでしたらこういった経路の方がどうなるという、おっしゃっていて止められるのかなと思いましたので検討してみます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:38	そうすると多分液状化の程度がかなり変わってくるような感じがするのでかなり激しく開いて流下するというような、
1:06:44	ヨーロッパとかになると思うので、
1:06:47	そ。
1:06:49	そう。そういった形で示していただけるとわかりやすいかな。そうすると、どんどんと、これだけ見ると、
1:06:55	液状化しないと言っているのかっていうのは誤解しちゃうんだけど実際欠席経営に使うとかそういうものを使ってるわけじゃなくて、
1:07:04	国分浦先生の言葉を使えば、そういった強制的に液状化するような物性値を使っていると。
1:07:10	いうふうに理解して、
1:07:12	いただかないといけないと思うので、その辺がちょっと、
1:07:16	言葉足らずだなというと、もう、
1:07:19	さらに説明性を高めるためには設計値が5号炉パートボール勘定関係です。
1:07:25	そうですね。ええ。
1:07:27	1系列とかしますと、
1:07:29	広井よりわかりやすいのかと思うんですが、いかがという趣旨です。
1:07:34	はい中国電力清水です。はい。よく理解できましたので、はい。対応したいと思います。
1:07:41	しつこくて申し訳ないんですけど、
1:07:44	517 ページの、
1:07:47	さっき言ったようにですね、勝Gでやっていく場合ですね最終的に、
1:07:54	とかですね、そのあとに出てくる。
1:07:58	物性値ですね、文献等から想定したというものと、できてるものに関して言った時に、
1:08:06	うん。
1:08:08	やっぱりばらつきってのは、
1:08:10	ある程度考えないといけないんじゃないかなとはじゃあ不確かさという形かもしれないですけど。
1:08:15	この辺の考え方を整理すべきだと思うんですが、いかがでしょうか。
1:08:23	切ってしまうの皆さんだけ。
1:08:24	うん。
1:08:25	してしまおう。五味中武。
1:08:29	中国電力志水です。はい。今ほどおっしゃっていただいた碎石についてと思いますけれども。はい。少し文献から引っ張っているというところもございますが

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:41	何かばらつきということが検討できないか、考えてみたいと思います。
1:08:45	以上です。確かさ、さっき言った不確かさという観点で考えるかですよね。
1:08:51	はい、承知しました。どういう形で、
1:08:56	要はサービスを基本ケースにするのであれば、それはどういうふうに設計として解釈しているのかっていうことはちょっと整理してきちんと整理してやっていただかなきゃいけないですし。
1:09:08	もしそれで何か解析的な根拠が必要な、例えばその評価。
1:09:12	結果を見せていただく必要があると思います。
1:09:15	で、同じように、同じ話になっちゃうんですけど、136 ページ。
1:09:21	同じ話ではないんですけどね、536 ページは、
1:09:26	ちょっとその場で
1:09:28	見ると、何か
1:09:31	プラス評価するほど、
1:09:33	データがね。
1:09:34	ですけど、
1:09:36	美味しく、実際にこれしかないというふうな、実際にはもっと、
1:09:40	これにですね、頭試験をすればするほど何かハラ式が大きくなるなんていうことはないでしょうね。
1:09:46	ここなんですよ。
1:09:49	そんなに多くはないですけど、約 39 ページの、
1:09:54	空真木伊澤庄田
1:09:59	ばらつきがあると見てとれるんですが、
1:10:02	236 ページの不破進藤に関し、当全く設計値の間を通過してナカムラがばらつき評価できるような、
1:10:11	状態になっていないなってそれは何かデータ数が少ないからじゃないかっていう気もします。これしかデータはないんです。
1:10:20	はい。はい。中国電力のヨシツグでございます。現状、このデータになっております。で、埋戻動の場合は、
1:10:29	粒径加セイキ曲線等を沿いながらやってるという関係でそんなにばらつきが出てないのかなとは思っておりますけれども、データとしては、すいません。このデータしかないという状況でございます。
1:10:43	ジェネックスそうそうなったから不確かさって考えなくていいのか。
1:10:48	そうすると結構聞かないといろんな構造物。
1:10:51	構成が変わると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:56	はい、中国電力のヨシツグでございます。おっしゃられる通り、梅本指導につきましては
1:11:02	かなりの構造物の横に上本城があるというようなところがございますので、影響としては、効いてくる材料であるというのは我々も認識しております。
1:11:14	で、この辺ですね、どう、ここは整理するかっていうふうに考えていただいてちょっとデータ数が少ない。
1:11:20	すると、
1:11:21	地中構造物においてはちょっと支配的な。
1:11:26	どそうなんで、このばらつき程度でまた結果が変わってしまうんじゃないなと思っていますので、どういった観点で、
1:11:37	それから月 1 件数試験データが少ないものに対して、どういうばらつきについて考えていかってということも踏まえてですね、ちょっともう一度は考えていただきたいなと思いますんで。
1:11:50	これによっては、
1:11:53	大木側にですね、FRS引き渡す活字なんかの中にはあるわけなんで、それらの形の辺りの影響もありますんで。
1:12:03	ここはちょっとですね、丁寧受参加していただきたいと。
1:12:09	はい。中国電力のヨシツグでございます。江崎さんのコメント理解いたしました。ちょっともう一度頭の中を整理してですね。
1:12:17	改めて検討含めてご説明させていただきます。以上でございます。
1:12:25	規制庁の服部です。
1:12:27	他に確認する点ある方おられればお願いします。どうぞ。
1:12:32	規制庁の浦です。ちょっと先ほどの II キーで確認したいことは言いつつあるんですが、
1:12:39	それと先ほどちょっとエザキとのやりとりを聞いていて、
1:12:44	48 ページ。
1:12:47	の、
1:12:49	上の、
1:12:51	モデル化ですね。
1:12:53	この時に、
1:12:54	ずい増、基本ケースっていうか設定ケースにして、
1:12:59	そして、
1:13:01	既設護岸を入れたものを、サブケース的に扱うんだ。違いましたね、as-isが適切効果を入れたやつを基本ケースにして、既設護岸がない状態なもので、検討ケースとして確認をするんだってご説明を。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:16	されたというふうに理解してるんですが。
1:13:19	ちょっと一般的に考えると、
1:13:24	鋼管杭にとって厳しいのは、多分既設護岸がないケースなので、
1:13:29	その部分を埋め戻しか何かです。設定しているものが、設計ケースであって、既設方案をモデル化したのが波及点灯用のケースっていうふうに、
1:13:40	私はちょっと思ったんですが、その点についてどういうふうに考えられますか。
1:13:50	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:13:53	今皆さんがおっしゃられたのは、既設護岸の部分も埋戻しのようなものでやったものが、設計ケースで、
1:14:05	既設護岸コンクリート部分をモデル化したものが波及的影響と、あとそういったご趣旨の、
1:14:11	コメントだったでしょうか。すみません確認させてください。はい。今言われてる通りです牧瀬側を保守的に考慮しないんだっていうのが基本方針ですよ。鋼管杭にとって何が一番厳しいですかっていうと、
1:14:27	既設護岸部分を例えば埋め戻しとか何かでモデル化したのが鋼管杭にとって厳しいケースなので、それが頸部設計係数になっていて、なって、
1:14:37	検討ケースとして、旧的影響防止の観点から、既設護岸をモデル化したものをやりますというようなお話だったら、ちょっと理解ができたんですが、その表の設計ケースとして、既設号を最初からモデル化されてる。
1:14:51	ていうas-isでいくんだっていうのはちょっと、その部分の考え方が理解できなかったんで確認しました。
1:15:03	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:15:06	ご質問の趣旨理解いたしました。
1:15:08	基本は、後は、今、我々が考えているのは既設護岸そのものというところについては耐震性がないということで、
1:15:18	ただ
1:15:20	重量等もありますので、これはそのままの現状でモデル化をしようと考えておりました。で、
1:15:29	炉圧を受けない。
1:15:30	構造物、炉圧地といたしました。次郎農地としてですね。
1:15:35	このA棟、
1:15:37	某多重交換よりも海側のところをモデル化しないというのが、
1:15:43	影響検討かなというふうに考えておりましたけれども。
1:15:48	ということでやると設置許可の方でご説明をさせていただきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:15:51	先ほど江崎さんのコメントでこのSTACYによる影響等もあるということがございましたので、
1:15:58	江藤、もう少しその辺りは検討したいというふうに思います。以上です。
1:16:02	規制庁の三浦です。すみませんがまたご説明お願いします。私言ってるのは、とにかく交換後にとって一番厳しいケース。
1:16:12	というのが、設計ケースであって、
1:16:16	多分、施設をモデル化すると、それは五感にとって厳しいケースがなくなってしまうので、そちらはどちらかっていうと、既設 5 番の波及的影響防止の検討なのかなというふうに思ったということです。
1:16:28	ちょっと整理して、また説明をお願いします。
1:16:34	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:16:37	どういう影響があるか、モデル化することによる、どう影響があるかということも含めて少し検討させていただいてまたご説明させていただきます以上でございます。はい。すみません。よろしく申し上げます。続けて 84 ページ、お願いします。ちょっと、ちょっと。
1:16:52	挟んでいいですか。ちょっと補足だけする形ですけども、江崎さんどうぞ。吉浦さん多分、評価の記憶だと。
1:17:03	多分、18 ページのこの図。
1:17:07	だけではなくて、
1:17:09	場所によってはですね、
1:17:12	広範囲防波壁がですね、この施設護岸を感知としての断面も確かあったと思うんですが、いかがですか。
1:17:24	はい。中国電力のヨシツグでございます。今江崎さんがおっしゃられた通り、位置関係によってはこの廃棄今お示していただきましたページで言うところの、
1:17:35	来た中鋼管杭が、既設護岸、
1:17:38	より一緒の位置で移ったり、衛藤さらに北側の海側に出ているといったところがございます。以上でございます。
1:17:49	今確認し、江崎ですけど今確認した話というのは、基本的に言うと、整理する上で、そういった話も含めてですね、モデル化。
1:17:59	できるできない可否も含めて、一応それをもう今一度整理していただきたいということをお伝えしたくて。
1:18:06	補足しておきました。以上です。
1:18:10	はい。中国電力のヨシツグでございます。今お示しているのが代表断面をちょっとお示しておりますのでそれ以外の断面でも、こういった基金等が必要かというところで整理をさせていただきます。以上でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:26	規制庁服部です。
1:18:28	ただいまの説明に対してちょっと、教科書のことをちょっと再確認したいんですけども、私からも、
1:18:36	許可の時 2、
1:18:38	この
1:18:40	既設護岸と呼んでるのは、既設護岸と被覆石等、消波ブロックとステイ首藤、木曾採石、これらをすべて既設護岸。
1:18:50	と呼んでいて、
1:18:53	これらすべてに耐震性がないので、
1:18:56	最悪を想定すれば、地震が起こった時 2、
1:19:02	木曾ステージから下が全部、上が全部崩れてなくなった後、ちょっと考えにくいんですけども、施設、今、施設護岸って書いてある擁壁の背面の土もすべて流されてなくなった。
1:19:16	というような状態。
1:19:18	このときが最も厳しいんじゃないですか。
1:19:22	保守的にちょっと課題とはいえ保守的なので、そのときが最も厳しいんじゃないですかという話があったので、
1:19:32	防波壁よりも海側をすべてモデル化しないケース。
1:19:38	をやって、確認しますと。ただ一方で、それは海側に倒れるときはそれが厳しいんですけども。
1:19:46	行く側に倒れるときは、STACYや季節。
1:19:51	既設 5 番の重量が作用した方が厳しくなる可能性もあるので、
1:19:57	例えば、既設 5 間のとか被覆費とかそういうものの重量だけ、単位体積重量だけを考慮して、構成を 0 にしたケース。
1:20:08	これをやることによって、海側への陸側への変形に対する保守性も確認します。
1:20:16	というふうに理解をしています。
1:20:19	基本係数で今聞いてると、基本ケースというのはあくまでも、既設護岸やSTACY、これが地震によって壊れなかった場合、
1:20:30	基本ケースとして、さっき言ったように、海側のものがすべてなくなって海側に倒れる方と、
1:20:40	施設護岸の剛性を 0 にして、既設盤の重量だけを、
1:20:44	考慮して、陸側に倒れる方の厳しいもの、これを不確かさとし不確かさというか、影響検討として、やるというふうに理解したんですけども。
1:20:55	それではよろしかったでしょうかどうぞ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:01	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:21:05	主鳥飼はその通りなのですが、少しご説明をさせていただきますと、
1:21:11	多重鋼管杭の今、当施設我々が既設護岸って言ったのは今、羽鳥さんがおっしゃられた通り、基礎ステージとか、
1:21:20	ステージ等をすべて含んでいますので、
1:21:24	衛藤。
1:21:25	これの耐震性があるのかないのかということで、我々としてはこれに耐震性は期待できないというふうに考えておりますということ、設置許可でご説明をさせていただきました。
1:21:37	で、その時に構造成立性ということで、この、
1:21:41	既設護岸に期待しない場合ということでどういった検討するかということで、先ほど羽鳥さんがおっしゃられ、
1:21:49	ある通り、ここの既設護岸や、
1:21:54	被覆石等の剛性を極力小さなものにして、必要とし、
1:22:01	そしては持っている。
1:22:02	言った解析を、ちょっと極端なんですけど、やってみました。
1:22:07	その場合でも勘ぐりとしての地震時の成立性というものを検討させていただいたというのが設置許可のところでございます。
1:22:16	で、今後なんですけれどもやはり実際の地震時にこの既設護岸がどういった挙動をして、
1:22:25	この鋼管杭に悪影響を与えるのか、
1:22:30	自動ドアとして今期待しないところと、受動動圧として実際に国、ドアとしてかかるといったところがメインになるかなと思っております。
1:22:40	と、もう一つが、実際に地震時に、どういう、どのように崩れるかというのがなかなか最近難しいので、
1:22:49	設置許可時と同様な検討で、これらが期待しないという、
1:22:54	ことを少し整理をして、それによる影響検討ということも確認したいというふうに考えておりました。
1:23:02	で、今言われました施設護岸のモデル化でございますとか、実際の物性値にどういったものがあるかというのを、少し整理をさせていただいて、ある程度、
1:23:14	結果も見ながらじゃないと御説明がなかなか難しいなというふうに、今日のコメントを受けまして、理解いたしましたので、
1:23:22	少しお時間をいただいて整理をしてまた

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:24	説明をさせていただきたいというふうに考えております。以上でございます。はい。規制庁の服部です。わかりました先ほどコメントで整理してくださいというコメントだったと思います。ということと、
1:23:37	今日のヒアリングは地盤の支持性能についてということですので、
1:23:41	今後整理して説明していただいてそこで改めて皆議論させていただければと思います。
1:23:48	私からは以上なんです。都築お願いします。どうぞ。
1:23:54	あ、規制庁の植田です。ちょっと確認させてください 84 ページ。
1:24:02	なんです、解剖解説でどうであって、試験結果よりもかなり保守的な設定をしていますということで内容は理解しました。
1:24:12	で、続きになったのが、埋戻量については試験結果よりも、簡易設定方が非常に小さい値、大きく放出が見られるのに、
1:24:24	作動液位の場合はほとんど試験結果等、会員設定方の差がないってこの違いってのは何から来てますか、ちょっと教えていただけますでしょうか。
1:24:41	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:24:45	と。
1:24:46	そもそも、
1:24:48	梅本新藤は人工的に、衛藤。
1:24:52	造成をしたものでございます。砂礫層は、流れがそこに堆積、ある程度、ずっと土の中に埋まっていたというような状況のものでございまして、
1:25:05	井口を比べますと、ある程度、
1:25:08	埋戻し炉の方はちょっと力が大きいということもありまして、かなり、
1:25:13	それを除いた小さなあたりのものを選んでおります。
1:25:17	で、逆に砂れき層につきましては
1:25:20	ウエキがそこまで大きなものがないということと、うちそのものと、やはりある程度相関がよく試験もできているということで、あまり変わらなかったのかなというふうに考えております。目黒指導の。
1:25:34	方が若干そういった力の影響等のものを除いたNGを使って、簡易設計法のものを使っているというところが、
1:25:43	かなり仕組みの値になっているのではないかというふうに考えております。以上でございます。規制庁の三浦です。今のご説明は、
1:25:54	簡易設法で用いてる値と実際の、
1:25:57	梅本指導の状況に差異があるというふうに理解したんですがそれでよろしいですか。
1:26:05	はい。中国電力のヨシツグでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:08	江藤。今回、
1:26:09	埋め戻しののところにつきましては、家が 30 以上のところにつきましてはれきに当たっている可能性があるということで、かなりちょっと省いたもので、かなり低めない内を整理するようしております。
1:26:24	ですので今三浦さんがおっしゃられた通り、現状のところは幾分低目のN値を集めているという、ご理解になると思います。以上でございます。はい。ご説明ありがとうございます。
1:26:36	今これちょっと、この二つの行、図を見ると、ちょっとその辺の設定方入湯試験結果の差異ってのは気になってしまうので、
1:26:46	今遊佐がご説明になられたようなことをここに少し追記しておいていただくと理解がいいと思いますがいかがですか。
1:26:57	はい。中国電力のヨシツグでございます。簡易設定法の、
1:27:02	妥当性、
1:27:04	という話にも絡んでくると思いますので、このあたり少し追記をさせていただきます。以上でございます。すいませんよろしく申し上げます。
1:27:13	あと、ちょっとこれは
1:27:16	直接的な質問ではないんですが、
1:27:20	235 ページから、
1:27:24	このD級岩盤のばらつきとか、あと埋戻どのばらつき、
1:27:30	給料のばらつきってところ。
1:27:32	資料としてあるんですが、これ
1:27:35	建築で用いている表層の物性時、まだそのばらつき、あと、
1:27:44	岩盤、1のみかな。
1:27:47	電流だと思んですが、そのの、
1:27:50	物性値とそのばらつきってものは、ここの関係をあくまでも建築は建築の方でそういうことが説明される。この資料の中には、
1:28:02	その建築の物性値については、入ってこないという理解でいいですか。
1:28:13	はい。中国電力のヨシツグでございます。ちょっとお待ちいただけたらと思います。
1:28:40	違う。
1:28:46	中国電力の落合です。建物の方の表層地盤につきましては、埋戻動画出口が出てきますので、これについてはここの絵と、
1:28:56	236 ページにある平均値の物性を使って、検討はしております。ただ、このばらつきにつきましては変動件数として考慮するという形。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:07	取っております詳細については、建築の方の入力地震動の方の補足説明資料の方で詳しく説明させていただきたいと考えてます。以上です。
1:29:20	規制庁の植田です。わかりました天野上本氏はあれですね、初期男性はこのまま入れて、ばらすケア、うん。
1:29:28	建築の考え方をするなんていうか、
1:29:31	そのまま持ってきてるとか変動率数は同じにしてるってようなことですかね。提携の方は、
1:29:37	ちょっとここでは直接的にやっぱ同じあれですか請求も、
1:29:41	違います。
1:29:48	中国電力の落合です。D級につきましては設置許可の時にもご指摘いただいております、建築の方ではこのD級岩盤については入力地震動のFEMのごく一部ということで、線形で扱っております入力を算定する際には、
1:30:04	これの影響については別途検討して、もう食事高になっておりますので、これもあわせて入力の方で影響検討しておりますので、結果も含めてですね、ご説明させていただきたいと考えてます。以上です。はい。規制庁の植田です。理解しました。建築の入力動のほうで説明をさしてしていただけるということでお願いしました。はい。私から以上です。
1:30:29	規制庁のハツリです他、確認する点ある方お願いします。どうぞ。
1:30:36	あ、規制庁の谷口です。
1:30:40	先ほど江崎の方からもいろいろ話が出てたと思うんですけども、
1:30:45	55 ページのところの、
1:30:52	液状化の共同試験の資料の最終については、
1:30:59	shall層については言わんと7問8とこの3ヶ所の部分の、
1:31:05	試験で評価をしたというのが実態ということでいいんでしょうか。
1:31:14	中国電力清水です。はい、ご理解の通りでございます。はい。しゃべっ小脳決めようとしてる
1:31:26	ものについての代表性としてはこの3ヶ所のものです。
1:31:31	やってるってことになるかと非常にサンプルが少ないんですけども、これは先ほど、
1:31:38	試験結果がHDモデルと整合してるのかって話もちょっとあったと思うんですけど。
1:31:43	これワー、もともとのチーフの土岐からも出てたように聞いていますけれども。
1:31:50	今現状としては、この資料としてはこの、
1:31:54	これ以上ふやすことはできないという感じでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:01	中国電力清水です。はい。ちょっと代表性の観点でのご質問かと思えます。衛藤。
1:32:08	当社としてこの3点で行っているというところで先ほど江崎さんから構造物通とのループ状態。
1:32:18	こちらの方確認されたいということと少しリンクすると思うんですが、
1:32:23	実態としてコンサル気相が構造物周辺に分布しているものとしては、半期のみとなっていること、それから
1:32:32	砂れき層のグループも局所的であるということからまさにその構造物の周辺で取っているということで代表性を、
1:32:42	どうしていると判断してございまして、
1:32:45	はいその旨の記載もちょっと、もうすぐにどこだか、お示しできないですが、書いてございます。以上です。はい、わかりましたその辺を文章の中にも気
1:32:58	説明として書いておいていただきたいなと思っておりますので、よろしく願います。
1:33:08	中国電力清水です。はい、承知しました。
1:33:11	それからもう1点ですけれども、223ページのところ、これ碎石の話になります。
1:33:20	碎石のところも局所的な物性値という形かと思えます取水管の埋め戻しに使ってるところだという話で、
1:33:30	案件の資料の2書いてある、新藤実験の結果を用いて解析抑制値を設定し、しているということなんですよ。
1:33:43	中国電力清水です。はい。その通りでございます。その中で223ページ目のところに、
1:33:50	生産部のど小モデル化した有限要素モデルの仕様と計算を実施している。これは、
1:33:59	今回参照した、
1:34:02	実験の中で解析をしてるっていう意味で、意味ですか。
1:34:09	はい。1億円の会社です。はい。ご理解の通りでございます。はい。こちらはですね減衰定数を求める際に、ある種、撮れ&エラーを
1:34:20	このモデルされましてその次、実験計画を整合するように減衰定数を求めに変えたというところでこのモデルが使われております。以上です。
1:34:30	はい。その前に、実際、入院ヨウ素モデルということで、これきつと不計算結果の中から引用してもそのまま。
1:34:40	補填としてるんじゃないかなと思えますけれども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:44	実際の数にあたっては当然これを別紙にモデル化してどういうモデルでしたか。それから、許可条件をどういうふうにしたかっていうのがきっとあると思うんですけども。
1:34:54	そういった条件は、ここの中に記載されてないんですけども、具体的にゆ記載することができますでしょうか。
1:35:05	はい。中国電力の伊沢です。一応、そうです。案件資料の方ですねそう言った、詳細な条件というのは書かれていない。
1:35:14	ところでございます。
1:35:16	ただ、
1:35:17	モデルと、
1:35:18	設定しているというところで、ちょっと基本的な所情報はここに書いているつもりでございます。以上です。
1:35:29	ただ、ユーザーを有限要素モデルだけ変えただけでは、実際の解析がどういうふうに行われたかってのは全然わからないので、
1:35:37	実際この論文発表されたものをさかのぼって、確認していただくことは可能ですか。
1:35:50	はい。中国電力の諏訪です。
1:35:53	はい。承知いたしましたちょっとそういったようなものがあるかどうかも含めて、文献等を探しまして、
1:36:00	もし、ありましたらこちらに資料確認させていただきたいと思います。はい。その辺の経緯を確認していただいて、もしなければ、
1:36:10	どういう形でやったかをちょっと。
1:36:14	確認していただかないといけないかなと思いますのでよろしくお願いします。それから、
1:36:21	原水についてももうトライアルレーダーって話があったんですけども。
1:36:27	どういうふうな形で減衰を決めたのかっていうのも、
1:36:31	もしわかれば記載をしておいてください。
1:36:37	中国電力清水です。はい。
1:36:40	おっしゃる観点で、この文献の方の記載を少し要約して記載しているところもございまして、もう少し詳しくですね、記載の方させていただきたいと思います。
1:36:52	以上です。はい。よろしくお願いします。
1:36:57	以上です。
1:37:00	既設のハットリです。他に確認する点あればお願いします。
1:37:14	規制庁の藤川です。補足資料の 73 ページを、
1:37:20	お願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:37:24	73 ページの一番最後の行で、
1:37:27	液状化強度試験が、Ss相当の地盤の状態を模擬していることを確認することとするってあるんですけども。
1:37:36	この妥当性確認って、
1:37:39	どの資料で行うのかのところの、
1:37:42	ところでも説明するのかっていうのを、
1:37:45	後、ご説明いただけますでしょうか。
1:37:49	はい。中分類ベースです。
1:37:51	はい。すいません。こちら、申し訳ありません。関岡の方ではですね、液状化強度試験の結果が基準地震動Ss相当の、
1:38:01	模擬できているというところをご説明させていただいておりました。ただ女川さんの方でそういった資料付けられてるのはこちらを把握しておりますので、すいませんちょっとこちら、新しく参考資料としてつけさせてご説明をさせていただきたいと思います。以上でございます。
1:38:18	他。
1:38:19	今中。
1:38:21	江藤。はい。
1:38:22	打田をつける。
1:38:25	ヨシダセイキってどう、そういうその資料を小中さんと調べてますっていう。
1:38:33	そうです。設置業界で説明したらもういらないだろうって、じゃあ、それ駄目だよ。規制庁の藤川です。承知しました。いやまた付けるってことなので、資料00番で、
1:38:45	説明するとかいう文言をまたどっかに追記いただいて、また今後資料をご説明いただければと思います。
1:38:52	以上です。15、中国電力清水です。はい。記載説明の方が足りておらず、申し訳ございません。今後追記追加させていただきます。以上です。
1:39:05	規制庁の服部です。
1:39:07	それでは私の方からちょっと基本的なことを幾つか確認します。
1:39:13	まず5ページをお願いします。
1:39:16	どうぞ。黒岩周辺摩擦力の考え方について、もう一度ちょっと再確認をさせてください。
1:39:24	許可時に置いて、
1:39:26	本設として品質管理されてないグラウト材。
1:39:31	空襲ご提起としてこうある範囲についてわー。
1:39:37	末摩擦力を考慮しない方針。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:41	という話が、
1:39:43	続きあったと思います。
1:39:46	話は具体的にまとめ資料とかには、
1:39:51	記載されていないんですけれども。
1:39:53	認識としてわあ、
1:39:56	背きちゃんと品質改良されている。
1:39:59	セメント魅力。
1:40:02	これがある範囲だけを、
1:40:06	空中摩擦、アーク周面摩擦力、
1:40:10	として考慮する。
1:40:12	そういう方針だったと認識してるんですけれども。
1:40:15	この人シキイについて説明してください。どうぞ。
1:40:24	あ、中国電力清水です。
1:40:26	はい。おっしゃるところで
1:40:30	杭の周面摩擦ということでして、まず、詳しくは次回、ご説明させていただこうと思います。以上です。
1:40:41	あ、規制庁の服部ですわかりました次回説明されるということなんですけど。
1:40:49	水上されてないクラウド剤であるならば、
1:40:54	センコーも
1:40:56	その部分については考慮していないという実績もあろうかと思しますので、
1:41:02	選考もよく見ながらですね。
1:41:04	その点についてももう一度この杭周面摩擦力を考慮する範囲というのは、詳細に説明していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。どうぞ。
1:41:17	はい。中国電力のヨシツグでございます。今おっしゃられた通り、次回ご説明させていただきますのですが、
1:41:25	江藤、知念真崎につきましては今おっしゃられた通り、衛藤。
1:41:30	岩盤より上の地盤改良部分は、失礼いたしました。埋め戻しの部分については考慮しないということで方針を少し見直したもので、次回ご説明させていただこうと思っております。詳細はまた、
1:41:43	理事会でよろしく願いいたします。以上です。
1:41:48	四番のあるんだ。
1:41:50	規制庁の服部です。わかりました。少々お待ちください。
1:41:55	この中で、
1:41:57	予定が2時間16上、
1:42:01	でもやめますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:13	あ、規制庁の服部です。
1:42:15	すみませんとまだ私は幾つか確認したことがあったんですけども、一応中国電力の方設定している。
1:42:25	時間対予定が 15 時半まで取っちゃう。1016 時までと。
1:42:32	いうことでしたので、
1:42:33	残りの確認については、残件分として次回以降、設定していただきたいと考えていますがよろしいでしょうかどうぞ。
1:42:47	はい。中国電力のヨシツグでございます。了解いたしました。日程等はまた調整させていただきます。
1:42:53	以上です。
1:42:55	規制庁の服部です。それでは一旦ここで確認時、事実確認を終了しますけれども、本日どうしても言っておきたいことが規制庁があれば、ヒアリングに関してですね。
1:43:07	これだけは事実確認、今日しておきたいということがあればお願いします。
1:43:11	よろしいでしょうか。
1:43:15	はい。中国電力側から、ヒアリング根拠のヒアリングに対してえっと言います。説明しそ、
1:43:23	忘れたこととか、気づきがあれば、説明をお願いしたいんですけど。ありますでしょうか。どうぞ。
1:43:31	はい。中国電力のヨシツグでございません。はい。ご質問でございます。失礼いたしました。特にございません。
1:43:40	規制庁の服部です。はい、わかりました。それでは残件分については次回のヒアリングでさせていただきたいと思っておりますので、これでヒアリングを終了したい、したいと思っております。どうもありがとうございました。
1:43:54	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。